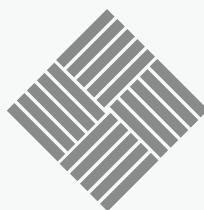


組紐・組物学会 ニュースレター

The Kumihimo Society Newsletter



Volume

3

Number

1

2012年9月25日

組紐・組物学会行事（終了分）

2012年3月17日(土)	10:30～16:00	第5回東京ワークショップ&レクチャー「アンデスの組紐」多田牧子
2012年4月27日(金)	10:00～16:00	第1回京都ワークショップ「アンデスの平組紐」多田牧子
2012年4月28日(土)	10:30～16:00	公開講座 レクチャー「アンデスの組紐」多田牧子
2012年5月12日(土)	10:30～16:00	第1回ワークショップ&レクチャー「アンデスの組紐」多田牧子
2012年5月22～27日	10:00～17:00	第2回組紐・組物学会作品・製品展示会 みやこメッセ
2012年5月25日(金)	10:00～16:00	第2回京都ワークショップ「異素材で組む」小嶋博子
2012年5月26日(金)	11:00～12:00	レクチャー「組紐の道具と歴史など」多田牧子
2012年7月14日(土)	10:00～16:00	第3回組紐検定試験（東京会場）
2012年9月15日(土)	10:30～16:00	第2回東京ワークショップ&レクチャー「組紐プレートで作るコサージュ」 「組機の歴史」多田牧子

目次 Contents

2 伝統と未来を結ぶ組紐 第2回組紐・組物学会作品・製品展示会 みやこメッセ

6 組紐国際会議報告 Braid 2012 Manchester

多田牧子・仲井朝美・高木たまき・清澤澄江

11 組紐・組物学会行事予定

In this issue

Kumihimo bridging the tradition and the future, 2nd Exhibition in Kyoto

2nd International Conference on Braiding, 2012 Manchester

Forthcoming Kumihimo events in and outside of The Kumihimo Society

組紐・組物学会ニュースレター

第3巻第1号 2012年9月25日発行

編集・発行 組紐・組物学会事務局 京都工芸繊維大学大学院

伝統みらい教育研究センター内 〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎御所海道町

TEL/FAX: (075)724-7844 E-mail: inoda@kit.ac.jp

本印刷物と同じ内容は学会の Web でもご覧になれます。 <http://www.kumihimo-society.org>

第2回組紐・組物学会作品・製品展示会



伝統と未来を結ぶ組紐

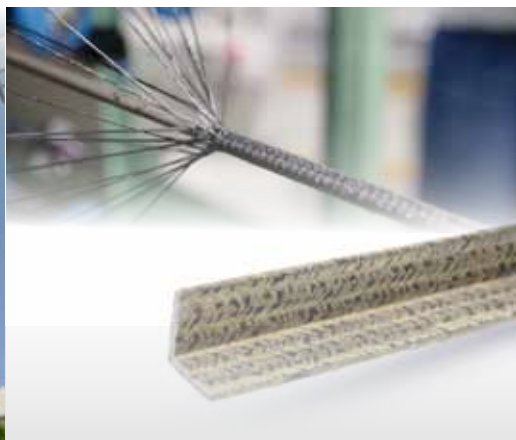
第2回作品・製品展示会が、総会、ワークショップに合わせて、みやこめッセ（京都市勧業館）2階の美術工芸ギャラリーで5月22～27日に開催されました。今回の展示会の特徴は、一般の来場者が多く見込める都心のみやこメッセに会場を設定し、DM等を事前に配布して広報活動を行ったことが挙げられます。また展示物の範囲を組紐作品だけでなく、産業用組紐製品、複合材料などにも広げました。また京都テレビが取材に来場し、翌日放映しました。このため、会期中に延べ600人の一般の来場者がありました。出展者は35名1グループ、製品・複合材料の出品は4社2グループでした。

組紐作品



二日目に京都テレビが取材、翌日15分間放映されました。

複合材料



優秀作品の表彰

優秀作品の表彰は、仲井朝美、多田牧子、渡辺一生の各理事が審査員となり、組紐・組物学会学会賞1名、優秀賞2名、学会奨励賞1名が22日に決定され、25日の懇親会の席上で表彰状の授与が行われました。

学会賞は岡本睦子氏の雪の結晶のような丸い唐組でした。また、優秀賞は尾崎嘉代氏の組紐プレートを使ったジグザグ形のアクセサリ作品と清澤澄江氏の8桁10菱の唐組に、奨励賞は甲田しのぶ氏の唐組によるネクタイと飾り袋に与えられました。



組紐・組物学会学会賞
岡本睦子氏



優秀賞
尾崎嘉代氏



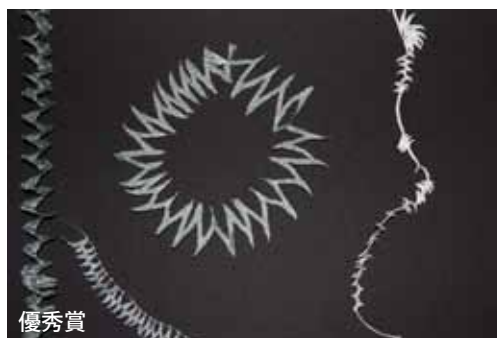
優秀賞
清澤澄江氏



奨励賞
甲田しのぶ氏



組紐・組物学会賞



優秀賞



優秀賞

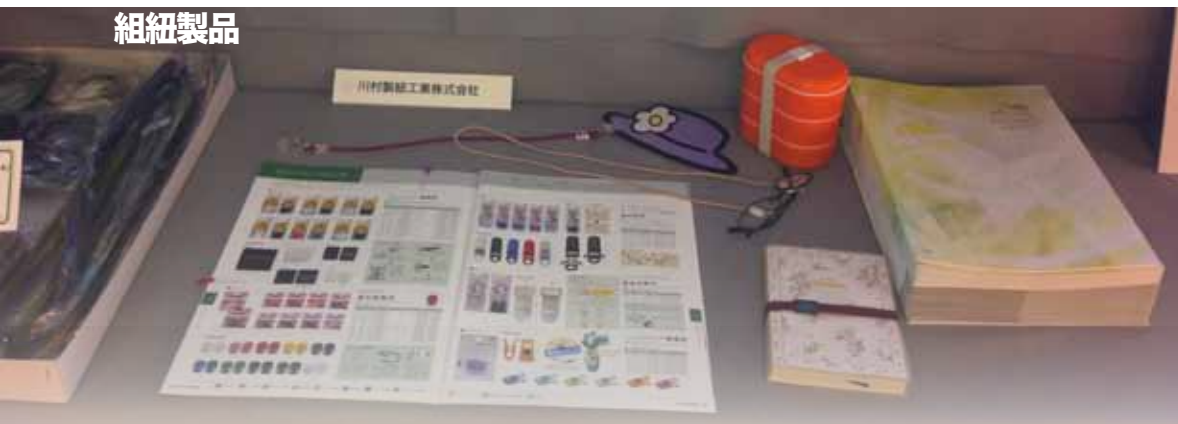


奨励賞



懇親会

組紐製品



Braids 2012 Manchester

組紐国際会議報告

多田牧子・仲井朝美・高木たまき・清澤澄江

会場のマントン会議場アトリウムで行われたバザール

第2回の組紐国際会議が、8月19日～25日にマンチェスターで開催されました。

マンチェスターは、香川選手が地元クラブチームへ移籍したことで日本でも話題になっていますが、かつて産業革命の中心地であり、織物工業で発展した英国第2の都市です。今回の会議は、英国の組紐協会（The Braid Society）が主催者となったこともあって、組紐も含んだ細長いテキスタイル全般に対象の幅が広がっていること、特に会議中日の1日を近郊のシルク博物館への見学ツアーに当てていること、会議の日程がロンドンオリンピック終了からパラリンピック開催まで間になっている点が特徴です。

会議参加者は106名で、このうち開催国イギリスが44名、日本が23名（成田出発11名、関空出発12名）、アメリカが17名と80%を占めており、次いでオーストラリア5名、カナダ4名、フランス、イタリア、南アフリカ、オランダが各2名でした。他にデンマーク、エストニア、ボリビア、インド、フィンランドから各1名が参加しました。

写真撮影：多田牧子・吉田タ子

マンチェスター市内





レセプションの英国組紐協会のメンバー

■レセプション

8月19日 15:00 マンチエスターメトロポリタン大学 Geoffrey Manton Building にて受付開始。
受付で登録をして名札を貰い、好きなストラップ(The Braid Societyの皆さんの手作り)を選んで首にかけ、プロシーディングブックやいろいろなお土産の入ったグッディバッグを受取りました。

■基調講演

16:30からは Brads 2012 Welcome & Reception が始まり、オーガナイザー Debbie Richardson のいろいろな注意や説明に続き、チェアマンの Steve Pretty のご挨拶、会長の Jacqui Carey のキーノートレクチャーがありました。Jacqui Carey のキーノートは主にミャオ族の組紐とその刺繍についてで、素晴らしい写真とその解説を堪能しました。

その後、平成24年度文化庁文化交流使の榎戸二幸(Enokido Fuyuki)さんの琴の演奏がありました。豪華な音色で外国人の皆さんを魅了しました。記念撮影の後、アトリウムでワインとカナッペのレセプションがあり、関西組の皆さんが到着！ワークショップの先生方と交流しました。その後、Brads 2012 が予約してくれたレストラン10カ所にそれぞれ参加、楽しい夕食をいただきました。

宿泊場所はマンチエスターメトロポリタン大学の宿舎 ケンブリッジホールです。すべて個室で私達のグループ20人は3フラットを使いました。宿舎に入るのもそれぞれのフラットに入るのにもカードキーが必要で、かつ個室にも鍵がついている万全のセキュリティでした。各フラットにお手洗いとシャワーが2室ずつあって、当初は混雑を予想しましたが、全然大丈夫でした。学生の宿舎にしてはきれいで便利でした。



英国組紐協会々長 Jacqui Carey の基調講演



Rodrick Owen のペルーの投石紐クラス

■ワークショップ

学会関係の参加者名を各ワークショップ毎に、敬称略で入れています。

月曜日・火曜日 2日間ワークショップ

・Joy Boutrup「ループ組紐」日本やそれ以外の地域で行われていたループ操作法を網羅するクラス。2人で行う方法なども。[仲井、野田、三浦]

・Jacqui Carey「中国の組紐刺繍」ミャオ族の細い組紐を中国の椅子型組台やバスケットを使い制作、彼女の中国ボビンや刺繍布などのコレクションも披露。[菅井]

・Rodrick Owen「ペルーの投石紐」紙の四角いカードでアンデスの紐のテクニックを学び、ロドリック考案の「コア台」での試し組も。「コア台」は組糸と芯糸と交換できる便利な組台。[小西、長井、吉田]

・Jennie Parry「真直ぐではない高台の組紐」事前の宿題が出されていたクラス。いろいろなおもしろい技法で楽しい高台の組紐を作る。[清澤]

・Barbara Walker「Ply-Split Braiding」事前の学習が要求された Ply Splitting のクラス。ダイアグラムを読み取って模様を制作する高度な技法を修得。[猪田]

月曜日 1日ワークショップ

・Anne Dixon「バルト諸国の細い帯」インクルームを用いた織テクニックの繊細な紐の制作。[菊池、高木]

・Gil Dye「16世紀のボビンレース・ブレイド」ナイロ

ン糸や特殊糸でボビンレースの細い縁飾り様のブレードなどを制作。[天野、鮫島、鈴木、西、安田、吉波]

・Adrienne Gaskell「ビーズの組紐ネックレス」ビーズびっしりの美しいネックレス、Adrienne は美しく速く作るコツなどを披露。[石井、不破]

・Anne Dyer「基本的カード織の引っ掛け技法」タブレットウィービング。穴の開いたカードを多数用い、経糸の通ったカードを回転させ、そこに緯糸を通して織る技法のクラス。

マンチェスターは日本より肌寒く、今にも雨が降りそうな天気が多く、言葉もわからず...でした。日本語しか話せない私以外は全部どこの国の方かもわからず、時間ばかりがすぎて質問もできず、となりの方ともお話もできず、ただ先生の実技を見て組むこと！頭の上を英語が飛び交う中、笑い声にも反応もできず、組台に向かうだけでした。今になって思うのですが、一人で挑戦できたことが逆に集中できたのでは？言葉がわからなくても伝わることを実感し、時々多田先生がお見えになって「ほんと」したこと思い出します。たった1週間でしたが、時間がたつにつれ、感動、感謝、喜びがこみ上げ、この経験を一人でも多くの方にお伝えすることが出来ればと思います。すべてが初めての経験で、多田先生、仲井先生はじめ皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。(清澤澄江)

清澤さんが受講したのは、Jennie Parry の「真直ぐではない高台の組紐」です。事前に宿題が出され、クラスでは Jennie がヒントを与え、新しい組み方を自分で考えるというかなり上級の厳しい条件のクラスでした。清澤さんはいつもと違って(笑)黙々といろいろな組み方に挑戦し制作なさっていました。Jennie からは Sumie はクラスで一番だった！とお褒めの言葉を貰われました。これからに活かしていただきたいと思います。(多田牧子)

Jennie Parry の高台クラス





Ingrid Crickmore のループ組紐クラス

火曜日 1日ワークショップ

- ・ Anne Dixon 「多重筒状の組紐ネックレス」 インクルームを用いた織紐のクラス。ビーズを織り込んだ美しい紐ができた。[菊池、鮫島、西、安田、吉波]
- ・ Julie Hedges 「3本撚り Ply-Split によるスカーフ」 通常4本撚りのコードを用いて制作する Ply Splitting を3本撚りの柔らかいコードでリバーシブルのマフラーを制作。[天野、鈴木]
- ・ Giovanna Imperia 「ワイヤーを用いた組紐 (1)」 ワイヤーの準備の仕方、取り扱い方などを習得。いろいろなゲージのワイヤーや糸と合わせて組んだりいろいろな組紐を経験。[石井、不破]
- ・ Robyn Spady 「インクルームによる縁飾り」 基本的な平織りに、飾りになるコードを織り込んだ縁飾りを制作。いろいろなブレードのビデオなど。[高木]

木曜日・金曜日 2日間ワークショップ

- ・ Ingrid Crickmore 「ループ操作で作る二重組紐入門」 ループ操作法による高度な組紐。[仲井]
- ・ Carol James 「スプリング」 フレームを用いたスプリングの実習。マフラー、セーターなどにも応用できる技法。[猪田、清澤、長井、吉波]
- ・ Errol Pires Nelson 「新しい Ply-Split 紐」 Ply Splitting の基礎から始めるクラス。バッグやベルトなどに応用できる技法。[小西、西、野田、吉田]
- ・ Makiko Tada 「唐組」 唐組の基礎から応用まで。尖つ

た形の組初めや円形唐組も。参加者はアメリカ、イギリス、イタリア、フランス、オランダ、日本と多彩。[安田]

- ・ Laverne Waddington 「アンデスの筒状織物」 G クランプとバックストラップ織機を用いてアンデスの筒状織物を制作。[菊池]

木曜日 1日ワークショップ

- ・ Carol Franklin 「綾書き：組紐のデザイン」 新しく綾書の本を著した Carol のクラス。わかりやすい説明で指導。[石井、三浦]
- ・ Adrienne Gaskell 「ビーズ飾りの磁石金具」 磁石金具をビーズのペヨーテステッチでカバーした美しい金具を制作。[鮫島、不破]

私が参加したクラスは、Loop Braiding (Joy Boutrup) と Introduction to Making 'Double Braids' as a Solo Braider (Ingrid Crickmore) で、両クラスともループ操作による組紐作製技術を学びました。組紐経験がない私が、初心者に見えない外国人に囲まれ、最初はとても緊張しましたが、すぐに夢中になってしまいました。両手と4つの操作の組み合わせで、平・丸・角組が組め、2本に分かれたり、1本になったり、2層になったり、伝統的に伝えられてきたその技術の素晴らしさに感動しました。また、色の組み合わせによって得られる組紐のデザインを考えるのが楽しく、糸を選ぶのもワクワクしました。本業の研究では、組物技術を複合材料の強化形態に活用していますが、新しいアイデアがたくさん浮かびました。ワークショップ以外にも、寮での宿泊、いろんな方との出会いと交流、楽しい思い出ばかりです。今から次回が楽しみです。お世話になった皆様ありがとうございました。(仲井朝美)

Errol Pires Nelson のプライ・スプリット紐クラス



Julie Hedges のブライ・スプリット紐クラス



- Elizabeth Kolb 「Pick-up Bands, Using a Rigid Heddle with a Short Pattern Slot Modification」 Elizabeth 手作りの Rigid Heddle を使って、北欧の伝統的な図柄を織り出すクラス、Susan Foulkes がアシスト。[高木]
- MMU スタッフ「大学構内見学」[菅井]

金曜日 1 日ワークショップ

- Lyn Christiansen 「組紐で表現する方法」組紐や織物、糸を素材にアートを制作する Lyn のクラス。[石井]
- Julie Hedges 「3 本撚り Ply-Split によるバッグ」3 本撚りのコードでかわいいバッグを制作。[天野、鈴木、鮫島、不破]
- Giovanna Imperia 「ワイヤーを用いた組紐 (2)」ワイヤーの本を著した Giovanna がワイヤーを素材に丸台や高台を用いて組紐を指導。[菅井]
- Elizabeth Kolb 「Quillwork bands on a bow loom」鳥の羽や、動物の毛を織り込む予定のクラスだったが、Quill が税関で差し戻されたので、それ以外の材料で制作。Nal bindnig というヴァイキングの needle sewing も。[高木]

多田先生の後輩、鮫島順子先生からお誘い頂いて、Braids2012 に参加させて頂きました。組紐は門外漢なので、北欧系のバンド織りのクラスを4つ、受講させて頂きました。A. Dixonさんのクラスでは、Three is a magic number! 縦糸を結ぶ時3回結ば解けない、と云われました。3は不思議で大切な数なのよ、と彼女の魔法にかかったようなクラスでした。E. Kolbさんのクラスでは、彼女はカナダの奥地ユーコン川のほとりに住んでいる方なので、バンド織りの巻き取り棒はビーバーダムの木切れでした。もう一つ材料に使う予定の、Quill (鳥の羽、獣毛) が、イギリス税関で、差し戻されてしまい、マンチェスターの公園で調達した木の葉などを、織り込みました。それでも時間が余ったので、Nal Bindnig というヴァイキングの needle sewing を習いました。全く実用的ではないので、滅びそうな貴重な技法です。このクラスで、アシストして下さった Susan、彼女こそ、私が、こういう物を織りたいと思っていた本『Sami band weaving』(北欧のサーミ人のバンド織り)の著者、Susan Foulkes さんだったのです。念願の織りを学ぶことができましたが、それだけではなく、出会った方すべてが素敵でした。主催者の方々に感謝申し上げます。(高木たまき)

講演

- Carol James: North American braided sashes. 月曜 日朝

カナダ、ケベックのアサンプションサッシュの歴史、技法などのレクチャー、ほとんど道具を使わず、指だけで組むフィンガーブレーディング技法。



- Stacey Harvey-Brown: Northwest Archives for research and inspiration 火曜 日朝

北西部に保存されているたくさんの資料をもとに分析考察し、現代に活かすためのレクチャー、資料が豊富でおもしろい。



- Gil Dye: Did passementerie give birth to bobbin lace? 木曜 日朝

素晴らしいボビンレースの歴史および絵画に表されたボビンレースなどをいろいろな作品と共に紹介した。



- Mari Omura: Archaic braiding techniques in China and the Korean peninsula 木曜 日昼

中国・韓国の組紐についての研究の報告と奈良時代のループに操作法でつくられた組紐についての豊富で鮮明な写真でのレクチャー。文字を組み出す技法も解明。



- Trish Goodfield: Promoting you and your art 金曜 日朝 芸術・工芸を普及促進するための市場開発や宣伝の方法についてのヒントについて (写真無し)

■ショートツアー 火曜日 17:00 から

Museum of Science and Industry (MOSI) で開催されている The Braid Society のビエンナーレ展示会を見学しました。日本の組紐とは全然違う作品がガラスケースに飾っており、たいへんおもしろく興味深いものでした。他に、組機やたくさんの織機があり、さすが織物の町と言う感じです。



■会議晩餐会 木曜日 19:30 から

マンチェスターメトロポリタン大学 キャンパス内の Pennine Restaurant で開催。日本人はきもので頑張りました！次回は2016年、シアトルにて開催との発表がありました。



■マックルズフィールド・シルク博物館見学ツアー 水曜日

Macclesfield Silk Museum, Paradise Mill, The Heritage Centre (Roe Street, Macclesfield, Cheshire SK11 6UT) 大型バス2台でシルク博物館など3カ所を見学。すべての展示物の保存状態がたいへん良く楽しめました。通常は入れてもらえない倉庫にも少人数ずつのグループに分けて入れてもらい見学する事ができました。この日の日本人のリーダーは東京組の吉波様にやっていただき、素晴らしい通訳ぶりに聞き惚れました！吉波様、ほんとうにありがとうございました！鮫島様もありがとうございました！（多田牧子）



■チェスターへの日帰り旅行 土曜日

マンチェスターから南西に電車で1時間の Chester は城壁に囲まれた中世の町です。古い町並みと1000年の歴史を持つチェスター大聖堂を見学し、デュー川のクルーズを楽しみました。



Proceedings

Threads That Move

Shirley Berlin and Ruth MacGregor (編)
A-4 版、フルカラー、160 頁
20 ポンド (約 3000 円)
ISBN: 978-0-9573127-0-8



第 2 回組紐国際会議の公式会議録
会議で行われた 6 つの講演と 25 のワー
クショップの内容が詳細に記載されてい
ます。全て英文です。

入手希望の方は組紐・組物学会事務局に
お問い合わせ下さい。

内容

Braids and Traditions

Chinese Braid Embroidery	中国の組紐刺繍	Jaqui Carey	7
Archaic Braiding Techniques	古代の組紐技術	Mari Omura	15

Kumihimo

Karakumi and Hirao	唐組と平緒	Makiko Tada	23
Un-straight Takadai Braids by Design	非直線的な高台の組紐	Jennie Parry	29
Ayagaki - Charting the Pickup Braid	綾書き—組紐のデザイン	Carol Miller Franklin	35
Wire Kumihimo	ワイヤを用いた組紐	Giovanna Imperia	40
Kumihimo Beaded Necklace with Focal Bead	ビーズによる組紐ネックレス	Adrienne Gaskell	46

Loop Manipulation Braiding

Loop Manipulation Braiding	ループ操作法	Joy Boutrup	52
Loop Braided "Double Braids"	ループ操作法による二重組紐	Ingrid Crickmore	57

Ply Splitting

Ply-split Braiding	プライ・スプリット紐	Erroll Pires Nelson	71
Ply Splitting with 3-ply Cords	3 本撚りのプライ・スプリット	Julie Hedges	75
Ply Splitting from Weaving Drawdowns	織図利用のプライ・スプリット	Barbara J Walker	80

Weaving

Sami Band Weaving in North America	北米の織紐	Elizabeth Kolb	85
Weaving an Andean Tubler Braid	アンデスの筒状組紐を織る	Laverne Waddington	97
Sagging in Tablet and Inkle Bands	カード織りの引っ掛け技法	Anne Dyer	106
Inkleweaving in the 21st Century	今世紀の細幅織物	Anne Dixon	110
Handwoven Decorative Trim on an Inkle Loom	細幅織機による縁飾り	Bobyn Spady	115
A Description of North American Quill Weaving	北米ヤマアラシ織物の解説	Elizabeth Kolb	121

Related Techniques

Wat is Sprang	スプラングとは何か?	Carol James	127
Ten Reasons Why You Should Try Fingerweaving	フィンガーウィービングの魅力	Carol James	132
Did Passementerie Give Birth to Bobbin Lace?	縁飾りはボビンレースの起源?	Gilian Dye	135
Bobbin-made Braid from the 16th Century	16 世紀のボビンによるブレイド	Gilian Dye	140

Braidmaking Context

From Archive to Contemporary	研究と発想のためのアーカイブ	Stacy Harvey-Brown	144
The Art of Braids	組紐で表現する方法	Lyn Christensen	147
Promoting You and Your Art	作家のための営業入門	Trish Goodfield	154
Acknowledgements	謝辞		157
Braids 2012 Conference Workshop and Tutors	Braids 2012 ワークショップ講師・講演者		158



第3回組紐検定終了 東京

本第3回の組物検定試験が2012年7月14日に日本女子大学家政学部で行われました。本年度は4級試験のみの筆記と実技の試験が行われ、4名の方が受験しました。

筆記試験は獲得点数により判定します。本年度の合格ライン（4級）は80点でした。

実技試験は試験会場で組まれた作品をもとに審査員が判定します。間違ひの有無、時間内に所定の長さに組まれているか、動作と出来映えの3つの観点からA、B、Cの3段階評価とし、A、Bが合格となります。

その結果、4級合格者は4名で、可否結果は実技試験で制作した作品と共に、8月初旬に各受験者に郵送されました。



ワークショップ 京都

■第3回ワークショップ&レクチャー

10月12日 レクチャー 10:00～12:00 木下雅子「径路図」

10月12日 ワークショップ 13:00～16:00 木下雅子「追加基礎技法」

10月13日 ワークショップ 9:00～12:00 木下雅子「追加基礎技法」

■第4回ワークショップ&レクチャー&検定試験

12月7日 ワークショップ 10:00～16:00 「検定直前ワークショップ」 多田牧子

12月8日 レクチャー 9:00～12:10 「検定直前講座」 多田牧子

12月8日 13:00～15:00 組紐検定 筆記試験

12月9日 9:00～12:00 または 13:00～16:00

組紐検定 実技試験

■第5回ワークショップ

2月8日 ワークショップ 10:00～16:00 「鼓組」 亀井三枝子、相原日出子

2月9日 ワークショップ 10:00～16:00 「唐組」 亀井三枝子、相原日出子

ワークショップ 東京

ワークショップが主で随時レクチャーをする予定です。

■第2回ワークショップ&レクチャー

9月15日 10:30～16:00 ワークショップ「組紐プレートで作るコサージュ」 多田牧子、レクチャー「組機の歴史」 多田牧子

■第3回ワークショップ&レクチャー

11月10日 10:00～16:00 ワークショップ「クテ打基礎技法(4段階手順)」 木下雅子
レクチャー「径路図」 木下雅子

■第4回ワークショップ&レクチャー

2013年1月19日 10:30～16:00 ワークショップ 亀井三枝子・相原日出子「唐組」

■第5回ワークショップ&レクチャー

3月16日 10:30～16:00

ワークショップ「プライ・スプリットの基礎」 多田牧子、
レクチャー「プライ・スプリットの基礎」 多田牧子

第2回シンポジウム 京都

組紐・組物学会主催の第2回シンポジウム（学術講演会）は2013年5月31日（金）、6月1日（土）の2日間、京都工芸繊維大学60周年記念館で開催の予定です。学術講演会の他に、例年通り総会、6月の京都ワークショップ、第3回作品・製品展、懇親会、前年の組紐検定の認定証授与などもこの期間に行われます。

第4回組紐検定 京都

組紐・組物検定は、組物を社会に広め、組物技術の向上と発展、技術指導者の育成を目的として、組紐・組物学会にて2010年度より設けられた検定試験です。性別・年齢・学歴等の制限はなく、またどの級から受験することができます。

2012年度は2・3・4・5級試験のみ行います。各級とも筆記と実技の試験を行います。

■期日

12月8日 13:00～15:00 組紐検定 筆記試験

12月9日 9:00～12:00 または 13:00～16:00 組紐検定 実技試験

■申込×切 2011年10月31日（月曜日）当日消印有効

■受験料 7350円（材料費込）

■受験料振込先 みずほ銀行出町支店 普通
1146170 組紐・組物学会

■試験会場 京都工芸繊維大学総合研究棟(予定)

■お申込・お問合せ 下記までお願いします。

606-8585 京都市左京区松ヶ崎御所海道町
京都工芸繊維大学 伝統みらい教育センター 組紐・
組物学会 検定試験係 <inoda@kit.ac.jp>

検定基準となる各級の技術到達度は以下の通りです。

■5級:丸台と角台の8玉、16玉。

組物の基礎的な技能と知識があるか。

■4級:丸台16玉、24玉。

組物について専門的技能と知識があるか。

■3級:クテ打初級、綾竹台初級。

組物について専門的技能と知識を持ち、

丸台で創作組紐を作るなど、応用能力があるか。

■2級:クテ打中級、綾竹台、高台1枚物など。

組物について専門的技能と知識を持ち、指導者の補佐
ができるか。

■1級:クテ打上級、高台2枚物の綾書ができる。唐
組台の実技。

組物について高度な専門的技能と知識を持ち指導する
実力があるか。

クテ打の検定試験範囲

■3級:「秘伝糸組」「真野家伝故實糸組手附」から
復元された手操作技法(基礎技法) 現存指操作技法(3
基本組紐)

2012年10月の講習会分

■2級:「秘伝糸組」「真野家伝故實糸組手附」から
復元された手操作技法(基礎技法)から少しはみ出し
た基礎技法(鎌倉時代の遺品に用いられている技法)

2012年の講習分

■1級:「糸組圖」の手操作技法(平組紐技法)2を
基にする1枚組紐の組成技法(中世綾織組織1枚組紐
の組成技法)(平組紐技法)

2012年の講習分



役員

■会長

多田牧子:組紐研究家

■副会長

仲井朝美:岐阜大学工学部

■理事

上田隆久:日本ピラー(株)

魚住忠司:村田機械(株)

大谷章夫:岐阜大学工学部

小嶋博子:組紐研究家

木下雅子:クテ打組紐技法研究会々長

倉谷泰成:(株)カドコーポレーション

國分成哲:(株)コクブンリミテッド

品川雅明:JX日鉱日石エネルギー(株)

多田眞作:(株)テキスト

寺本 靖:(有)寺本文化財工芸社

廣澤浩一:三重県組紐協同組合顧問

圓井 良:圓井繊維機械(株)

渡辺一生:渡敬(株)

事務局

猪田宮子:京都工芸繊維大学

組紐・組物学会事務局

京都工芸繊維大学大学院

伝統みらい教育研究センター内

〒606-8585

京都市左京区松ヶ崎御所海道町

Tel/Fax: (075)724-7844

E-mail: inoda@kit.ac.jp

<http://www.kumihimo-society.org>

ご入会、ワークショップ、組紐検定の

お申し込みはこちらをお願いします。

組紐・組物学会ニュースレター

3巻1号(年2回発行)

